

10401製材業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	17 ～ 18	工場柱加工場で、不要材（杉集成材105角、30本程度）再利用のため、ホゾ穴を卓上丸鋸切断機で切り落とす作業を行っていた際、不要材を支えていた左手に切断機が下りて、回転している刃部分が左手示指、中指に当たり骨折した。	18	8	131	30 ～ 49
2	2020	1	11 ～ 12	6mオート定規で製品のカット作業中に、集塵口に詰まった端材を取り除くため、機械のスイッチを切って木の棒で取り除こうと手を入れたら、刃物の回転が停止しておらず、左三指裂傷骨折となった。	28	8	131	10 ～ 29
3	2020	1	11 ～ 12	テーブル帯のご盤で板を加工作業中、ノコ後の先端部仕切り板に皮ごみが引っ掛かっており、それを除去しようとしてテーブル上に前のめりとなったとき、上半身の作業衣（ヤッケ）が送りローラーに引っ掛かって巻き込まれ、木材と送りローラーの間に挟まれて胸部が圧迫され、右肋骨を折った。	42	7	132	1～ 9
4	2020	1	13 ～ 14	作業場で巾詰め機を使い作業中、木の切れ端を手で取り除こうとした際にチェーンとスプロケットの間に右手親指の爪の左側が挟まれ挫滅した。	22	7	121	50 ～ 99
5	2020	1	9 ～ 10	木材の乾燥施設に接続しているチップ貯蔵庫内のチップ量を確認するため、チップ確認用窓を覗き込んだとき、足を滑らせ、チップ貯蔵庫と発電所屋根の間から落下し、腰、背中、頭に骨折、打撲を負った。	40	1	418	1～ 9
			14	ツインソーで木材をカット作業中、添え木の位置が斜めにずれてお				

6	2020	1	15	り、カットされた木が手元に戻った際、添え木に当たり、右手関節に挫傷を負った。	54	6	131	—
7	2020	1	15	チップ製造作業中、製造機械に詰まった木材を取り除く際、機械の刃に右手指が当たり、右示指皮膚欠損創、右中指挫創を負った。	49	7	169	10 ～ 29
8	2020	1	14	工場では板材の横切り作業中、コンベアベルト上に堆積していた廃材を取り除くため移動していた際、右足脛に肉離れを起こした。	44	19	921	30 ～ 49
9	2020	1	11	工場では自動背割機を使って柱を挽いていた際、センサー異常があったためエアーコンプレッサーで清掃をしたところ、ホースが絡み、解けた拍子に丸ノコに右手が接触して、母指・中指・薬指を骨折した。	49	8	139	1～ 9
10	2020	1	8	工場内を歩行中、バックしてきたリフトにはねられ、右中足骨を折り、右足打撲、右下腿擦過傷、左足挫傷を負った。	60	6	222	30 ～ 49
11	2020	1	8	コンベアで流れてくる柱材の鋸肩を選別作業中、モーター付近のチェーンが外れていたため右手で元に戻そうとした際、機械に巻き込まれ右正中神経断裂を負った。	52	7	121	1～ 9
12	2020	1	10	背板搬送装置に背板が引っ掛かったため取り除く作業中、バランスを崩しチェーンとカバーの間に左手を挟まれ、左示指切断、左示指末節骨開放骨折を負った。	50	7	224	10 ～ 29
13	2020	1	23	ユンボでの作業終了後、操作室から降りるため、キャタピラの上を移動し前方から降りたところ、排土坂につまずいて転倒し、右橈骨遠位端骨折を負った。	51	1	141	300 ～ 499
14	2020	2	15	ペティーク（小型横切盤）で、埋木材を3枚重ねで幅決めしていたところ、可動式安全カバーを上げたまま作業を行ってしまった。その際、材料を押さえる治具を使用せず、左手で押さえたた	60	8	131	100 ～

			16	め、下1枚が反発し、左手親指に当たり反射的に材料を押さえていた左手人差し指が伸び、鋸に触れて左示指末節骨開放骨折を負った。					299
15	2020	2	16 ～ 17	工場の製品棚の途中に載っていた雨避けビニールを引っ張ろうと、高さ30cm、12cm角の架台に乗って手前に引いたところ、バランスを崩して架台に背中を打ち、外傷性血気胸および肋骨骨折を負った。	64	2	418	～ 29	10
16	2020	2	4 ～ 5	製材工場でトラブル処理を実施し、作業場所（持ち場）へ戻る途中で路面に置かれていた木材につまずき、バランスを崩して転倒しそうになったとき、横にあったセンサー架台および搬送フレームに体をぶつけ、左側第12肋骨を折った。	60	3	522	～ 999	500
17	2020	2	10 ～ 11	木材を荷止め機で固定する際、誤って落下し、左右腕骨折および腰椎破裂骨折を負った。	54	1	221	～ 29	10
18	2020	2	14 ～ 15	工場内で、製材機械から搬入された角材（3m×150mm×90mm）が、ライブローラーから滑り落ちて右足に当たり、親指を骨折した。	57	4	522	～ 29	10
19	2020	2	13 ～ 14	製材機の刃切れが悪くなったので交換するため、回転を止めようと停止レバーを引っ張った。その際、レバーを強く引きすぎて、鋸刃の安全カバーの間に左手親指を挟んで脱臼した。	55	7	139	～ 49	30
20	2020	2	8 ～ 9	工場内で、柱を積上げ仕分け作業中、柱が浮き上がり押し出され、落下（高さ2m）した。その際、第一腰椎破裂骨折を負った。	56	1	522	～ 29	10
21	2020	2	11 ～ 12	工場内でパレット製作中、材料を取るため横に積んであった高さ1mの材に足を掛けたところ、滑って転倒して大腿骨を折った。	69	2	522	～ 29	10
22	2020	2	13 ～	作業場内で丸太を抱えて機械まで運び、製材後フォークリフトへ運ぶ動作を繰り返し行ったところ、腰に強い痛みを感じ、腰椎・仙腸	45	19	522	1～ 9	

			14	関節捻挫を負った。				
23	2020	3	9 ～ 10	製材工場内で第1ツインバンドソーから出た製材の端材を第3バンドソーで細かく製材するために、第3バンドソーの操作者と2人でライブローラーの上から端材を手渡していた。その際、ライブローラーのチェーンカバーがその箇所だけなかったために、端材を受け取ったときに、軍手がチェーンに巻き込まれ、左環指を挟み指尖損傷と診断された。	61	7	224	10 ～ 29
24	2020	3	14 ～ 15	木材の製材作業中、反対側の様子を見に行こうと左手をチェーンの上に乗せ、ベルトコンベアを跨ごうとしたときに、手に乗せていたチェーンが動いたため、とっさにチェーンを掴んだ瞬間に左手の中指と薬指が挟まれ、切断した。	68	7	224	30 ～ 49
25	2020	3	13 ～ 14	木材横切加工場でフォークリフトを用いて製材をコロコンローラーの上に荷降ろし中、被災者がフォークの荷の下で、台板を設置するため潜っていたところ、ローラーと製材に挟まれ、左橈骨遠位不顕性骨折、左顔面挫傷を負った。	57	7	222	30 ～ 49
26	2020	3	13 ～ 14	工場内で、抗刃研ぎ機のスイッチを切らずに丸鋸に挟まった木っ端を取り除こうとしたところ、回転中の丸鋸と手袋を着用していた右手が接触し、右環指不全切断、右中指末節骨開放骨折、右拇指挫創を負った。	42	8	131	50 ～ 99
27	2020	3	15 ～ 16	廃材を作業場から敷地内の廃材廃棄場所に捨て、作業場に戻る際、他のことに気を取られ、砂利につまずいてよろけた。その際に、積まれていた材木に左手中指をぶつけて、左手中指が腫れて、先端を骨折した。	71	3	522	1～ 9
28	2020	3	14 ～ 15	木工作业場で、丸のこ盤を使って木材の縦挽き作業中、挽き終えた木材を手で取ろうとした際に、左手の親指がこの歯に接触して、指先をそぎ切りし、左母指末節を開放骨折した。	67	5	131	1～ 9
29	2020	3	11	製材工場内の木材仕分けローラー前で、木材をカットしていたとき、ローラーに引っ掛かった木材を引き上げた。その際、ローラー	22	7	224	30 ～

			12	のチェーンに左手が触れて、親指を骨折して挫創を負った。				49
30	2020	3	11 ～ 12	工場内で、作業場所へ小走りで移動中、搬送装置が右足つま先に引っ掛かり、右足が伸びる形となり、右腓腹筋皮下断裂した。	56	19	229	1～ 9
31	2020	3	16 ～ 17	倉庫で、型枠パネルのケレン作業中（パネルについているコンクリートをはがす作業）、右手でハンマーを打つ際、右手中指を打ち、骨折した。	33	3	364	1～ 9
32	2020	3	9 ～ 10	工場木材加工中、機械上部で原木を回転させた際に右手が巻き込まれ、人差し指に裂傷を負った。	81	8	132	1～ 9
33	2020	3	13 ～ 14	作業場で、機械を使用して木材をカットする作業中、木材がうまく流れなかったため手で押し込んだ際、木材とローラーの間に右手中指が巻き込まれて切断した。	55	7	224	50 ～ 99
34	2020	3	17 ～ 18	木工作业場内で、木くず集積場を整地した後、はしごを下りようとした際、足を滑らせて約3m下に転落し、右脇腹を打って肋骨と胸椎を折った。	43	1	371	1～ 9
35	2020	3	11 ～ 12	チップサイロのある屋根脇で、チップの溜まり具合を確認していたとき、スレート屋根を踏み抜き、約7m下の工場内コンクリート土場に落下し、右足首、右肘、腰椎を骨折した。	28	9	415	30 ～ 49
36	2020	3	17 ～ 18	工場内で歩行中、鉄板につまずいて転倒し、右膝蓋骨を折った。	63	2	417	10 ～ 29
37	2020	3	13 ～ 14	台車の前に置いてある角材を取ろうとして、よろけて右手をつき、右肩腱板損傷を負った。	60	2	522	10 ～ 29
38	2020	4	15 ～	帯のこを交換した際に、抱え込み階段を下りたところ、足を滑らせ右腕に抱えていた帯のこの歯先が刺さり、右肘挫創を負った。	21	8	521	10 ～

			16						29
39	2020	4	14 ～ 15	製材工場で、チップパーに端材を入れていたところ、2番のおがくずのダンパーに切れ端が引っ掛かったので、取り除こうとして、機械を止めず手を入れて、右手中指を切断した。	64	8	139		1～ 9
40	2020	4	15 ～ 16	木工加工場で、丸鋸盤を使用して材木を加工していたとき、刃に接触して右手示指・中指・環指・小指を切断した。	28	7	131		1～ 9
41	2020	4	11 ～ 12	建設現場で荷降ろし中、トラックの荷台から降りるためにアオリに手をついた際、アオリが倒れてバランスを崩し、地面に置いてあった材料に腰をぶつけて、右腸骨を折った。	61	3	221		10 ～ 29
42	2020	4	5 ～ 6	木材製品をトレーラーで輸送中、左カーブに差しかかった際、トレーラーが横転し、頭部打撲、頸椎捻挫を負った。	54	17	221		50 ～ 99
43	2020	5	10 ～ 11	工場帯のこ交換作業中、帯のこを取り付けるときに、帯のこを張るためのスイッチを押すと回転するロッドに左手ゴム手袋のゴム部分が触れ、ゴム手袋が一瞬ロッドに絡んで、左手中指・薬指・小指が反り返り、屈筋腱損傷を負った。	44	7	132		10 ～ 29
44	2020	5	16 ～ 17	工場帯で、一連の加工作業が終わりカバーを開け掃除を始めたところ、カンナに木の節の破片があったのを取ろうとして手を入れた際、まだ刃が回転していたため左手中指に切創を負った。	47	8	133		1～ 9
45	2020	5	10 ～ 11	製材工場で製品の棧積み作業中、棧積み機が動かなくなったので駆動ベルトの位置調整をしようとしたとき、急に動き出した駆動ベルトに右手人差し指を挟まれ、骨折した。	52	7	121		50 ～ 99
46	2020	5	10 ～ 11	運送業者敷地内で、輸入コンテナ内に収納された原板の搬出時、原板（20.5cm×3.5cm、長さ240mm）が隙間なく11列（高さ218cm）床に直積みされていた。クランプフォークリフトのフォークが入る隙間を作るため、被災者が手で運び出そうとした。その	33	7	222		50 ～ 99



54	2020	6	14 ～ 15	木材を機械に通す際、木材が途中で詰まり、本来は道具を使用すべきところ、手で押し込んで、鋸で左手薬指に挫創を負った。	69	8	131	1～ 9
55	2020	6	8 ～ 9	工場の自動製材システムライン内、木造建築用柱材（11.5cm角×長さ3m）の耳すり工程で、寸法の誤差を計測していた。その際、回転中の丸鋸の刃に左手が接触し、小指を骨折した。	64	8	131	30 ～ 49
56	2020	6	10 ～ 11	工場では木材をカットしていた際、木材投入を監視するセンサーがうまく動作せず、3本同時に流れ込んだため取り除こうとしたところ、動作中の丸鋸に左手が接触して第5指に挫滅創を負った。	63	8	131	10 ～ 29
57	2020	6	14 ～ 15	倉庫内を片付け中、不要になった搬送装置（430×160×70cm）を切断していたところ、切断した片方が倒れて腰に当たり、第1腰椎椎体を骨折した。	70	5	224	10 ～ 29
58	2020	6	22 ～ 23	フォークリフトで積み材を移動中、フォークリフトの爪を入れるときに材をずらしてしまい、数枚の材が残っていたため、フォークリフトから材に移ろうとした際、りん木の上に乗ってしまい、天秤になり滑って爪先から地面に落ちて、右拇指基節骨を折った。	38	1	522	50 ～ 99
59	2020	7	11 ～ 12	6mの丸太を製材しているとき、端材を送るローラーが回らなくて手で動かした際、ローラーを回しているチェーンに指が掛かって巻き込まれ、右示指切断、中指不全切断、小指挫創、環指中端骨骨折となった。	62	7	132	10 ～ 29
60	2020	7	8 ～ 9	工場内で電線のたるみを直す作業中、リフトのフォーク部分に板を敷いて、2人で2mの高さで作業していたところ、ヘルメットを被っておらず足場も不安定であり、足を踏み外して落下し、左側後頭部と肩に打撲を負った。	18	1	222	1～ 9
61	2020	7	10 ～	工場のWエッジャー耳摺り機の丸鋸を清掃中、挟まっていた雑片を取り除こうと、機械停止後、エアガンでの吹き飛ばしを試みたが取れず、丸鋸カバーの蓋をあけ、丸鋸の手前側が止まっていることを目視確認したが、奥側の丸鋸も止まっていると勘違いし、内部に左	39	8	131	50 ～

			11	手を入れて取り除こうとした。その瞬間、奥側の丸鋸が惰性で回転しており、左手小指が丸鋸に接触して、骨折した。					99
62	2020	7	16 ～ 17	工場内でリフトから降車時、足下の地面に少し残差があるのに気付かず、段差で右足をひねり、右足関節を捻挫した。	47	19	416	10 ～ 29	
63	2020	7	10 ～ 11	工場で、結束作業をしていたとき、大きな製品結束にするため、溜まっていた製品を移動させた際、その製品が崩れそうになり慌てて製品を押さえたが、製品の一部が足にぶつかり右膝・右太腿打撲、右前腕に挫創を負った。	26	4	522	50 ～ 99	
64	2020	7	9 ～ 10	木工製品の加工作業中、カッターナイフで不良個所を剥離する際、左手のひらに裂傷を負った。	40	8	364	10 ～ 29	
65	2020	7	9 ～ 10	工場で、フォークリフトが完全に停止していない状態で運転者がリフトから降りた。その後、リフトの左後方にいた被災者の左足にリフトのタイヤが乗り上げ、足首を骨折した。	50	7	222	1～ 9	
66	2020	7	16 ～ 17	フォークリフト作業中、ツメの異変を発見した。その際、報告義務を怠り1人で修理を行っていたところ、外したツメが左足に落ちて、第1～4趾を骨折した。	43	4	222	10 ～ 29	
67	2020	7	15 ～ 16	工場内で原木を切断中、チェーンソーのアクセルを離れたものの、まだチェーンが回っている途中で原木をまたいだ際、服にチェーンが絡んで左足が巻き込まれ、大腿部に挫滅創を負った。	50	8	136	1～ 9	
68	2020	7	14 ～ 15	貯木場で原木の仕分け作業中、フォークリフトに積んだ丸太が絡み合ったのを直していた際、原木（長さ4m、直径30cm）が滑り落ちてきて、土場にあった原木との間に左足が挟まれ、膝を骨折した。	57	4	222	1～ 9	
69	2020	7	15 ～	新築現場で、ユニック車のクレーンを使ってサイディング材の荷下ろしをしていた。助手席側のアウトリガーを出していなかったため、サイディング材の重荷に耐えきれず、ユニック車が横転しよう	30	19	419	30 ～	

			16	としたのを防ごうとして、車体を支えたが足が滑り転倒し、右前十字靭帯損傷を負った。				49
70	2020	7	17 ～ 18	工場内で木材加工中、製材した板を移動するローラーテーブルの、チェーン駆動装置に左手を挟み、左手人差し指第2関節を骨折した。	42	7	224	10 ～ 29
71	2020	8	9 ～ 10	製材工場にて、2人用帯のご盤で、送られた木材を受け取る際、背板（製材した後の外側の部分）を積み上げていたとき、積み方が悪かったために、左足に板が崩れ落ち、左足首と左膝に強度の打撲を負い、左膝内側靭帯損傷の疑いとなった。	38	5	522	10 ～ 29
72	2020	8	11 ～ 12	木工機械のトリミングソーで、端材を取り除くため材料投入側から治具を使って右手を入れた際、停止スイッチを切っていたが刃が惰性で回転していたため、接触して甲と示指・中指に挫創、腱断裂を負った。	48	8	131	50 ～ 99
73	2020	8	15 ～ 16	リフト積込作業中、手のしびれや嘔吐があり、意識が朦朧として熱中症と診断された。	63	11	715	50 ～ 99
74	2020	8	10 ～ 11	ベルトコンベアーの回転中、丸太が絡み合ったため整えようとして屈んだ際、左足先が駆動チェーンに乗って、ギヤモーターのスプロケットと駆動チェーンに巻き込まれ、第1趾を骨折した。	64	7	121	10 ～ 29
75	2020	8	11 ～ 12	工場内で杉板を切断する作業中、切断機の板を押さえる部分の下に、右手を置いていたため、親指が挟まれて打撲挫創を負った。	32	7	131	1～ 9
76	2020	8	8 ～ 9	工場帯鋸を使用して作業中、鋸の刃が木材に引っ掛かって割れ、破片が腹部に直撃して切創を負った。	55	4	132	50 ～ 99
77	2020	8	13 ～	工場帯鋸を使用して作業中、鋸の刃が木材に引っ掛かって割れ、破片が腹部に直撃して切創を負った。	46	8	379	30 ～

			14						49
78	2020	9	12 ～ 13	製材工場内で、ラミナ（杉材4000×31×117mm）を2枚重ねて、製材品スタッカーに積まれたラミナ（高さ1700mm）の場所に積み上げていた。その際、てこの原理で片側を引っ掛け、持ち手側を上げようとしたとき、引っ掛けていた側が落下し、手放した持ち手側の角が跳ね返り、左目尻に当たり裂傷を負った。	44	6	522	～ 299	
79	2020	9	13 ～ 14	製造工場の2階のオガサイロでオガの有無を確認しよう和中に入り、オガの落とし口の板に乗った際、板の釘が体重の重さに耐え切れず抜け、板が外れて1階の地面に落下し、右肋骨と仙骨を折り、肺挫傷を負った。	47	1	522	10 ～ 29	
80	2020	9	10 ～ 11	製品を片付けるため、フォークリフトのエンジンを止めて降車する際、雨で濡れた前輪のフェンダーで足が滑って転倒した。その際、フェンダーに鼻をぶつけて骨折し、地面に臀部を強打して打撲傷を負った。	65	1	222	10 ～ 29	
81	2020	9	8 ～ 9	工場内で、木材を機械でカット中、木材が床に落下し拾う際、右手が機械の刃物に触れ、右親指に創傷を負った。	41	19	131	30 ～ 49	
82	2020	9	14 ～ 15	木材を現場へ配達していた際、左手小指に木材が引っ掛かって脱臼・骨折した。	54	3	522	1～ 9	
83	2020	9	15 ～ 16	チップ用材の詰まりがあったため、ラインを止め用材を引き抜いた際、勢い余って後ろ側の架台で手を激突して、右手4、5指中節骨を折った。	46	3	224	300 ～ 499	
84	2020	9	13 ～ 14	トラック荷台から右足を階段ステップに乗せた際、手すりをしっかり掴んでいなかったため、仰向けに転落し、外傷性血胸、多発肋骨と腰椎横突起骨折および肺挫傷を負った。	53	1	212	300 ～ 499	
			11	工場内で、角材（3650×90×90）を両手で抱えて製材機に運ぶ途				10	

85	2020	10	10 12	中、置いてあった材に足を取られてつまずき、左足をひねって靭帯 損傷を負った。	43	2	417	～ 29
86	2020	10	16 17	現場で仮設工事が完了し、重機を撤収する際、重機の天窓を閉めた ところ、右手薬指を挟んで裂傷を負った。	64	7	142	10 ～ 29
87	2020	10	19 20	工場で、操作盤の電源を停止中、歩廊を下り、手摺を左手で掴んだ 際、体重が掛かり、左肩を脱臼した。	21	19	921	10 ～ 29
88	2020	10	12 13	工場で、帯鋸盤を使用し製材中板を切断後、ローラーで流れてきた 板を両手で受け止める際、板の重さに耐え切れず、板と鉄板の間に 右手が挟まれ、右手中指を粉碎骨折した。	36	7	522	10 ～ 29
89	2020	10	17 18	工場で製品を移動作業中、足を滑らせて製品と足場の間に右足を挟 まれ、足根骨部を折った。	54	7	522	30 ～ 49
90	2020	10	16 17	工場の横切り機で作業中、足下が引っ掛かってつまずき、刃に左手 が接触して人差し指の腱を断裂した。	19	8	131	10 ～ 29
91	2020	10	9 10	製材所で、製材機の台座に左足から飛び乗ろうとした際、右膝裏に 肉離れを負った。	57	19	416	1～ 9
92	2020	11	15 16	工場内の製材機械ツインリッパを操作中、センサー部に木屑が詰 まり作動停止したため、木屑を取り除いたところ、下がっていた ローラーが上部に戻ったことで、本体とローラーの間に腕を挟まれ て右手部前腕擦傷を負った。	49	7	131	10 ～ 29
93	2020	11	16	本社倉庫内で、1梱包木材束（49束（1束：長さ4m×高さ9cm×幅16 cm、重さ30kg）7段7列）をフォークリフトで搬入するため持ち上げ たところ、荷崩れを起こし、結束バンドが緩んだので、フォークリ	40	5	611	10 ～

			17	フトを下げた状態で、フォークリフトから降りてカシメ部分の点検をしていた。その際、突然梱包束の結束バンドが切れて、崩れてきた木材束の一部が右足の膝に当たり、右脛骨高原骨折を負った。					29
94	2020	11	11 ～ 12	製材工場で、丸太製材機から丸太が外れて落下し、右足小指に当たって骨折した。	44	4	139	1～ 9	
95	2020	12	14 ～ 15	工場で、裁断機で木板を50枚重ねて切断するとき、刃を落下させて板を切断した後、その場所にごみがあったため、手で取り除こうとしたときに刃が再び下りてきて、左手指3本の先端部を切った。	54	8	131	50 ～ 99	
96	2020	12	14 ～ 15	木材工場内で、製材完了後に製材品と背皮の仕分け整理を2人で行っていた際、背皮を反転させたときに、左小指を強打して骨折した。	62	3	522	10 ～ 29	
97	2020	12	15 ～ 16	台車製材機の前で、ホイストで木材（約6m）を吊り上げようとしたとき、木材が濡れていたため台車から滑り落ち、右足首に当たって骨折した。	29	4	211	1～ 9	
98	2020	12	8 ～ 9	工場内で、製材作業中、刃の横に流れる潤滑油の量が少なく、機械の中に手を入れた際、刃が回転しており接触し、右手中指末節骨に挫傷を負った。	40	8	132	10 ～ 29	
99	2020	12	16 ～ 17	作業場で、木材の端材をバックヤードに捨てる作業中、リフトでバケットを返した際、蓋が閉まらなくなったため、手で取り除いていたところ、突然蓋が閉まり右第2指に裂創を負った。	40	7	379	10 ～ 29	

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。